



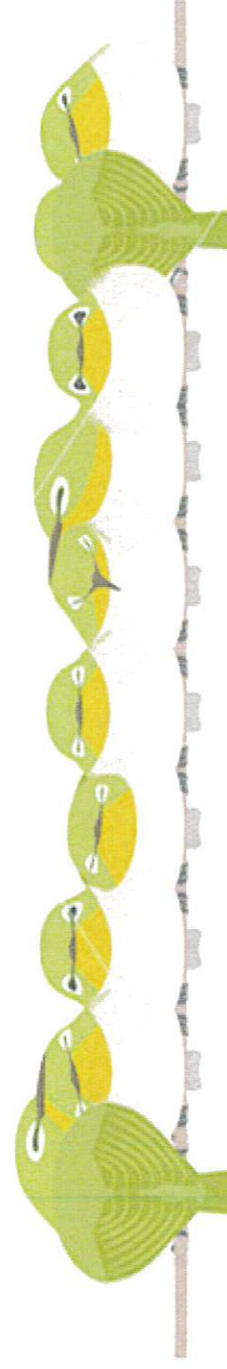
日退教和歌山新聞

日本退職教職員協議会和歌山
日退教和歌山
 640-8114 和歌山市船場町16
 日教組和歌山内
 TEL 073-436-6820



この秋、様々な企画目白押し

＝日退教の会員だからこそ＝



仲間と学び、社会とつながる

- 10月7日（土）講演会「(仮)憲法・安保3文書って何？」
 講師 金原徹雄弁護士 14:00～15:30 中央コミュニティセンター
- 10月16日（月）「沖縄から見る日本の平和・未来」 18:00～20:00 県民文化会館 3階特設会議室
 講師 沖縄高教組委員長 幸地 一さん 別紙パンフ参照
- 10月28日（土）水平社博物館（奈良県御所市）見学
 水平社創設100周年記念 リニューアルされさらに充実
- 10月28日（土）集会「県下の憲法9条を守る運動の交流集会(仮称)」 14:00～ プラザホール
 憲法9条を守る弁護士の会・9条の会
- 10月29日（日）映画上映会「標的」
 「慰安婦」をめぐる記事に関する、朝日新聞植村記者への攻撃。その中身と陰謀を描いた映画（日本ジャーナリスト会議賞受賞）
- 11月5日（日）6日（月）日退教福島学習の旅
 10:00～と14:00～（トークを含め約2時間）和歌山市男女共生推進センター（あいあいセンター）6階
 13:30飯坂温泉あづま壮集合＝講演・学習・交流・懇親＝（2日目）バスで被災杭域視察、東日本大震災・原子力災害伝承館＝16:50福島駅解散
 （費用は個人負担）

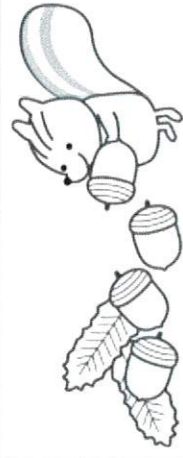
仲間と楽しむ

- 10月19日（木）高野山ハイキング
 高退連近畿ブロック主催 8:00和歌山駅東口集合 バスで参加費4,000円（但、半額補助・弁当付き）
- 10月31日（火）日退教和歌山グラウンドゴルフ大会 9:00集合 9:30～11:30 紀ノ川河川敷
 恒例のスポーツ大会。初心者大歓迎。 別紙パンフ参照
- 11月10日（金）和退連グラウンドゴルフ大会 別紙パンフ参照
- 11月14日（火）金剛山歌劇公演（和歌山朝鮮初中級学校創立65周年記念）
 和歌山城ホール 18:30開演
- 11月22日（水）絵画教室（自分の好きなものを水彩画で描きます！） 中央コミュニティセンター
 苦手な人も歓迎！ 13:30～15:30 別紙パンフ参照
- 11月28日（火）日退教和歌山「秋のバスツアー」
 今回は「(滋賀)メタセコイヤと坂本散策の旅」 別紙パンフ参照
 <詳細は別掲参照>

会員の皆さんへ

「二重下線」は日退教和歌山独自の行事です。ぜひ、ご参加ください。
 楽しい企画、ためになる企画のご提案をお待ちしています。（事務局）





日退教和歌山新聞

日本退職教職員協議会和歌山
日退教和歌山
 640-8114 和歌山市船場町1-6
 日教組和歌山内
 TEL 073-436-6820

秋のバスツアー参加者募集

メタセコイヤ並木と坂本散策の旅 (滋賀)

一みなさんで、秋のひとときを満喫しませんか！

- ①実施日：2023年11月28日(火) 日帰り (雨天決行)
- ②申込み切：10月31日(火) 集合 和歌山駅東口 8:00
- ③行程：下枠内
- ④参加費：8,500円(昼食代等を含む)
- ⑤申込先方法：別紙のパンフレット参照
- 事務局 南方(090-8212-4124) 竹内(090-9092-6110) まで
- ⑥注意：1 飲み物、おやつは各自用意してください。
 2 申込の際、下記により乗車場所をお知らせ下さい。
 (観光バスが拾ってくれます)(同伴者の分もお忘れなく。)
- ⑦※市内の停車場

- エバグリーン塩屋店南北道路 ○南海和歌山市駅「雄橋」
- JR和歌山駅東口 ○パチンコ123駐車場前交差点

⑧旅費概算

バス代税込み(ガイド付)	198,000円
有料道路・駐車場	20,020円
乗務員経費(2人)	2,000円
	222,020円

◎一人あたり
 (参加30人として) ≙ 7,334円(A)

個人負担分の経費

昼食代(税込み) 1,848円
 旅行傷害保険 160円

◎小計 2,008円(B)
 合計(A) + (B) = 9,342円

*参加人数が多くなれば、費用減になる
 全国退職教職員生きがい支援協会共催事業
補助あり 旅費集金額は8,500円

③の行程表

エバグリーン塩屋店南北道路====南海和歌山市駅「雄橋」====JR和歌山駅東口====
 7:15 8:00
 ====パチンコ123駐車場前交差点====和歌山IC====岸和田SA(休憩)====第二京阪・名神
 8:10 8:50~9:05
 ====京都東IC====(湖西)====安曇川グリル(昼食)====マキノピクランド(降車)・・・
 11:15~12:15 12:45
 メタセコイヤ並木散策・・・マキノピクランド(乗車)====大宮川観光駐車場(降車)
 13:25 14:30着
 ・・・・坂本散策・・・大宮川観光駐車場(乗車)====井筒ハッ橋本圃追分店====京都東IC====
 16:30発 16:50 ~ 17:20
 名神・近 (休憩) 阪和
 ====岸和田SA====和歌山IC====和歌山各地
 18:45~19:00 19:40~20:10

昼食場所 高島市安曇川町
 『安曇川グリル』

「秋季バスツアーのお誘い」

秋季バスツアーを企画したのでご案内します。
 今回は近江路・湖北・湖西の散策です。今まで滋賀県のツアーは湖東や湖南が多かったのですが、今回は湖北「メタセコイヤの並木道」湖西「坂本の町並み」等に行きます。

和退連高齢者集會に参加して

今回の集會は、和歌山県知事、岸本周平さんの講演で、演題は「和歌山が最高！だと子どもたちが思う未来を！」でした。日退教和歌山からも多くの会員さんが参加してくれました。

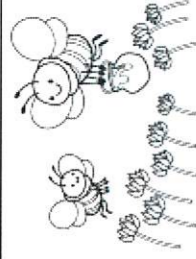
知事は、これから色々な政策に取り組むとのこと。

- 一、和歌山県は人口減少に悩む県でもありますが、前知事以前から観光立県と云われてきました。これからの観光化を推し進めるために「和歌山未来創造プラットフォーム」をつくり、全国の著名な方々から助言や提言をいただくとのこと。その観光の要素として古代から歴史のある地域や施設がたくさんある。特に高野山、熊野三山、温泉など自然、精神性、靈性に関わる場所があるので、それを観光資源として改めて「聖地リゾート！和歌山」というキャッチコピーをつくって発展させる取り組みをしていくとのことでした。
- 二、串本のロケットの打ち上げに成功させ、将来的にはロケットに関わる企業を誘致することができる。
- 三、南紀白浜空港を大きな飛行機が離発着できるように滑走路を500m延長し、2500mにする。そして、空港名を「南紀白浜熊野空港」にしたいなど、やりたい色々な政策を熱く語ってくれました。

このように知事は一期で完成できるものではないが、空港は10年かかる。今からやらないとできない。頑張りつて和歌山のために取り組んでいきますとのこと。

未来の子どもたちのために、ここに参加された高齢者の方々の協力をお願いすることで、講演を終わりました。
 (事務局より)

ゆっくりとバスツアーに行きませんか？
 多くの方の参加をお待ちします。(事務局より)



日退教和歌山新聞

日本退職教職員協議会和歌山
日退教和歌山
640-8114 和歌山市船場町16
日教組和歌山内
TEL 073-436-6820

ミツバチシリーズ4

大山 隆生

ミツバチの生態（その2）

人間社会では子どもが成長し自立するとき、親元を離れて新居を構えます。ミツバチは群が大きくなると母親女王バチが約半分の働きバチと共に「巣別れ」をして、別の場所に住処を移します。これを「分蜂」と言います。人間社会との大きな違いは親が出ていくことです。毎年、厳しい寒さに耐え越冬に成功した群はさくらの開花後10日前後、雨上がりのよく晴れた日の昼頃に行われます。母親女王バチは分蜂の時期が近付くと、「巣板」の下方に作られた「王台」と呼ばれるひとまわり広い部屋に後継者となる新女王バチを産みます。また普段はいない10%ほどの雄バチも産みます。女王バチはオス・メスを自由に産み分けることができます。この頃になると、引っ越し担当の探索バチ（メスの働きバチ）は新居を探しに2km圏内で四方八方に出かけます。また、団体の割りに羽が小さく飛ぶことができない女王バチは給餌係から食事の量を減らされ、約25%のダイエットを強いられます。他のハチと一緒に転居先まで無事に飛べる引き締まった体にするためです。やがてその時期が来ると、分蜂群は近くの木の股や軒下などに集結し「蜂球」を作ります。これは狭い「巣門」から何千匹ものハチが一斉に出られないことや、転居先が決定していない場合などの一時的な集結です。この分蜂群は転居先ですぐに巣作り・産卵・子育て・採蜜・貯蜜等の作業が円滑に行えるよう、一匹の母親女王バチと若年・中年・高年齢のメスの働きバチ、それにオスバチと年齢構成のバランスのとれた群になっています。それにしても居残り組と引っ越し組はどうして決めるのでしょうか。個々のハチが自主的に判断して？それとも誰かの命令？未だに解明されていません。親女王バチが出た後、古巣に残った新女王バチ（長女）はオスバチを連れてハネムーンに出かけます。そして自群の複数のオスバチと交尾をします。さらに他の群の雄ハチとも交尾をし、腹に約10万個の受精卵を蓄えます。これは血縁が濃くなることを避けるためと考えられます。子孫を残すことに成功した雄バチはこの1度の交尾で命を全うすることとなり、巣に帰ることはありません。交尾の機



ミツバチの分蜂群。この中に約一万匹の働きバチと一匹の女王バチがいる。

会に恵まれなかったオスバチは、新女王バチと共に巣に帰ります。この新女王バチは次の分蜂まで巣から出ることはありません。そして、交尾の機会が得られなかったオスバチは、日中出かけては他の群のハネムーンに出た新女王バチとの交尾のチャンスを覗きます。そのためオスバチは空中を飛び女王バチをいち早く見つけるため非常に大きな目を持っています。蜂球を作っている間、探索係は転居先を探しに出かけ、各自が一番良いと思う物件を報告し合います。太陽の位置を起点として蜂球の表面上（他のハチの背中の上）を歩いて方向と距離を教え、最後にお尻を立てて左右に振ります。激しく振るほど上質の物件であることを表します。このとき他の複数の探索バチがそろそろと後について歩きます。このことを∞の字に繰り返して歩くことで他の探索バチが仲間の得た情報を学習するのです。そして確認に出かけます。自分の見つけた物件と、学習した物件を比較して良い方の物件を歩いて報告します。複数の探索バチがこれを繰り返すことで、やがて最良の転居物件が一つに絞られます。なんと見事な決定方法でしょう。意見が一つにまとまるまで徹底的に議論を重ねて決める。見習いたいものです。この時のハチは一種の催眠状態にあり、塊に手を突っ込んでも刺されることはありません。また、待機中は外気に晒されているため、外側にいるハチは体温が下がってしまう場合があります。そこで待機中は外と中を入れ代わりながら、全部のハチが飛べる状態（約35℃）になるまで、飛翔筋を小刻みに震わせてアイドリング運転をします。やがて全員飛行可能な状態に

訃報
辻本和美さん
昭和26年5月13日生まれ
令和5年5月31日逝去
昭和49年4月和歌山市立西浜中その後
河北中・楠見中再び西浜中で勤務
（西浜中では愛徳分校が長かったよう）
平成17年3月退職



日退教和歌山のホームページを作りました

日退教和歌山の活動が皆さまに分かりやすいようにと考えました。行事のお知らせや行事の様子など載せています。位置見てください。ホームページのアドレスは、次のとおりです。

<https://ntk-wakayama.com>

なり、探索バチの誘導で一斉に新居に向かいます。新居といっても新しい巣というわけではありません。むしろ営巣歴のある中古物件の方が好まれるようです。仲間の匂いが残っていて安心感が得られるからです。従って私たち日本ミツバチ保存会のメンバーは、分蜂時の「待ち受け箱」として雨ざらし・日ざらしにした巣箱を設置して入居を待ちます。大抵はその日のうちに引っ越しは完了しますが、時には転居先の決定に手間取り数日を要することもあるようです。その間運悪く荒天に遭ったりして全滅してしまうこともあります。ミツバチの分蜂は種の繁栄のための一大イベントです。私たちの飼っている群が分蜂して、設置した「待ち受け箱」が探索系の物件査定に合格して入居してくれば幸いです。他の場所（山）へ引っ越していても、いつかまた分蜂して帰ってきてくれることを願ってこれまでの安寧を祈るのみです。
(このシリーズはいつたんで終了します。)